

# 悲願の J1昇格に向けて 全力を尽くす

県内唯一のプロサッカークラブであるロアッソ熊本。昨季、J1目前まで迫りながら惜しくも昇格を逃しました。あと1歩で届かなかったJ1昇格。今季に懸ける思いをロアッソ熊本の黒木晃平選手とサポーターの田中宏征さんに聞きました。

## ロアッソ熊本 黒木晃平選手

くろき・こうへい 1989年7月31日生まれ。ポジションはディフェンダー。大津高校では主将としてチームを牽引し、U-18日本代表候補にも選出。佐賀大学卒業後はサガン鳥栖に所属。平成27年、ロアッソ熊本に完全移籍し、昨季はチーム加入後最多の41試合に出場。過去最高の成績を取めたチームを豊富な運動量と積極的な攻守で支えた。大津町出身。33歳。



昨年11月に京都で開催されたJ1参入プレーオフ決定戦でも多くの皆さんに来ていただき、素晴らしい雰囲気の中で試合をすることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で過去に無観客試合を経験していたので、再びファンの前でプレーできることに喜びを感じています。

昨季は4位でJ1参入プレーオフに進みましたが、惜しくもJ1昇格に届きませんでした。昇格するのが私に

昨季はたくさんのお熱い応援をいただき、ありがとうございます。

ロアッソでは毎回、課題を修正しながら試合に挑むようにしています。若い選手が多いですが、試合を重ねる中で自信が付き、チームの雰囲気も良くなってきました。その成果が表れたのか、年間を通して連敗が減ってきていると思います。

今年も県民の皆さんに感謝してもらえような試合をお届けしますので、ぜひスタジアムに足を運んでください。サポーターの応援が私たちの力になります。

昨季はたくさんのお熱い応援をいただき、ありがとうございます。

ロアッソでは毎回、課題を修正しながら試合に挑むようにしています。若い選手が多いですが、試合を重ねる中で自信が付き、チームの雰囲気も良くなってきました。その成果が表れたのか、年間を通して連敗が減ってきていると思います。

今年も県民の皆さんに感謝してもらえような試合をお届けしますので、ぜひスタジアムに足を運んでください。サポーターの応援が私たちの力になります。

昨季はたくさんのお熱い応援をいただき、ありがとうございます。

ロアッソでは毎回、課題を修正しながら試合に挑むようにしています。若い選手が多いですが、試合を重ねる中で自信が付き、チームの雰囲気も良くなってきました。その成果が表れたのか、年間を通して連敗が減ってきていると思います。

今年も県民の皆さんに感謝してもらえような試合をお届けしますので、ぜひスタジアムに足を運んでください。サポーターの応援が私たちの力になります。

## 声援がチームの力になる

ロアッソ熊本 選手インタビュー

とっての1番の夢。皆さんも期待していると思うので、J1をつかみ取れるようにチーム一丸となって汗を流していきます。

私個人としても多くの試合に出場し、ディフェンダーとして攻守にわたりチームに貢献できるよう準備していきます。

今年も県民の皆さんに感謝してもらえような試合をお届けしますので、ぜひスタジアムに足を運んでください。サポーターの応援が私たちの力になります。



試合終了後、サポーターへあいさつをする選手たち  
 (写真提供: ©AC KUMAMOTO)